

2023年12月 (No.414)

主な内容とページ

半導体列島再び 2023 年回顧.....	1
名目設備投資、32 年ぶりの 100 兆円突破に	2
半導体は投資ラッシュ.....	2
対中 より現実的への新段階	3
日本の半導体 23 年は前年比減だが、軽微.....	4
2023 年の M&A	4
23 年 IPO は KOKUSAI など 4 件	8
半導体、変わるもの、変わらないもの (SRL だより)	10

半導体列島再び 2023 年回顧

今年はどのような年だったか、1 年をまとめた。

1. 一昨年から本格化した半導体の復興策に伴う投資が本格化、新規投資、新たな外資進出など相俟って活況を呈した。
2. ウクライナに加え中東でも戦争が勃発、世界情勢は混迷を増している。米中対立は激化の一方で、台湾韓国企業の中国現地工場への規制を無期限延期するなど、供給網の確保のための現実的な対応がみられた。
3. 半導体市場は世界全体では、二桁前後の落ち込みだが、コロナ感染の落ち着き、半導体の供給改善などから自動車に強い欧州や日本は、比較的堅調だった。

半導体、変わるもの、変わらないもの

今年の年明け、日経新聞 1 月 7 日付けは、「73 歳のアントレプレナー」と題し、前東京エレクトロン会長の東さんのラピダス立ち上げに至る経緯をオピニオン・ページで紹介、目立つ内容だった。それから約 1 年、ラピダスはマスコミをにぎわし、かなり知られる存在になったと思う。船出の号砲は、いさましく、期待は高まる。

半導体の扱人も変わってきている。原油を超える世界最重要物質、シリコミー等々。AI(人工知能)も注目が集まる。ついこの間までコロナ対策で、「マスク」や「ワクチン」の取り合いをしていたのが、いつの間にか半導体に入れ替わった感じだ。安全保障が問われているが、本質は何か、振り返って考えることも必要だろう。

半導体産業の浮沈は激烈で、競争力の衰退からこの分野から去った人々も少なくなかった。今は、追い風に恵まれ、それを活かさない手はない。しかし、半導体がにわかにはブームになったり、すぐに忘れ去れるのでは困る。国民性と言われるかもしれないが、一番影響を受けるのは産業自体なのである。

(大竹 修)

本誌の内容一覧、索引は、SRL ホームページをご利用ください。

<http://www.semiconresearch.co.jp/>

この資料の複写、複製その他電子的な方法等によるいかなる形での複写利用をお断りします。この資料は公開されている文書および、社会的に信用ある企業、団体等の責任者によって公開された情報を SRL の解釈と分析で表現したものです。

2023 年 著作権所有 株式会社 SRL

SRL Monthly Report

2023 年 12 月(毎月 1 回発行)第 34 巻 12 号(通巻 414 号)

発行元: 株式会社 SRL

〒187-0011 東京都小平市鈴木町 2-865-67

TEL 042-439-5317 FAX 042-439-5023

編集・発行人/大竹 修

© (株)SRL 2023

SRL Monthly Report

December 2023, No.414

Semicon Research Ltd.

2-865-67 Suzuki-Cho, Kodaira -City, Tokyo 187-0011 Japan

Publisher/Editor Osamu Ohtake

購読料金 1 年分(12 号)98,000 円(税別) 107,800 円(税込み)